

令和5年度に実施した主な事業

・**とんぼる (多文化共生・人権プラザ)の整備** ≪4億 2463万円≫



・**金剛ふるさとバスの運行 (令和5年12月~) ≪2792万円≫**



・**見守りおむつ定期便事業の実施 (令和6年1月~) ≪833万円≫**



◆その他実施事業一覧

事業内容	費用
新庁舎建設事業 (建設工事の着手や仮移転にかかる業務)	4億 9027万円
新型コロナウイルスワクチンの接種	5億 1384万円
金剛地区のウォークラブルな空間づくりの実施	1億 745万円
物価高騰対策として水道基本料金 (2カ月分) を減免	7785万円
物価高騰対策として小学校給食費 (2~3学期分) を無償化	1億 2896万円
物価高騰対策として中学校給食費 (30食分) を無償化	1789万円
物価高騰対策として各事業者、団体などに支援金を給付	1億 3343万円
戸籍証明書のコンビニ交付サービスの実施	1438万円

健全化判断比率は引き続き、健全な状態を維持

■本市の令和5年度健全化判断比率

指標	本市比率	早期健全化基準 ※4
実質赤字比率 一般会計などの赤字の割合を示した指標	※1	12.12%
連結実質赤字比率 国民健康保険などの公営事業会計も含めた赤字の割合を示した指標	※1	17.12%
実質公債費比率 市債 (市の借入) の償還による財政負担の度合いを判断する指標	-0.7% ※2	25.00%
将来負担比率 自治体が標準的な行政活動を行うために必要な一般財源総量に対する将来的な負担 (市債などの借入残高) の割合を示した指標	※3	350.00%

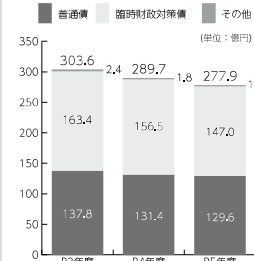
※1 全会計の実質収支の合計で赤字が発生しておらず数値がないため、「-」表記。
 ※2 令和3年度~令和5年度の3カ年平均の数値。
 ※3 将来の負担が発生していないため、「-」表記。
 ※4 この数値を上回ると、法的に財政の健全化に取り組みなければならないと国が定めている基準。

■市民一人当たり計算すると

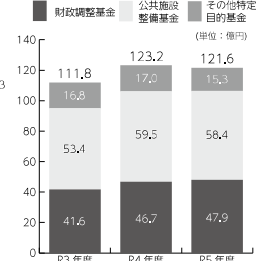
令和5年度の一般会計決算を、今年3月31日現在の住民基本台帳人口に基づき、市民1人当たりの額に換算すると下表のとおりになります (目的別の額)。

民生費 237,708円	衛生費 45,532円	総務費 42,068円	教育費 40,335円
公債費 28,016円	土木費 28,070円	消防費 16,432円	商工費 1,529円
議会費 2,922円	農林業費 3,161円	災害復旧費 748円	合計 446,521円

■一般会計の市債残高の状況



■一般会計の基金残高の推移



用語チェック!

市債 国や金融機関から借り入れたお金
 実質収支 歳入・歳出の差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を除いた収支額
 基金 公共施設の建て替えなど、決められた目的で使うために積み立てているお金
 ※その他の詳しい用語解説については右上図 (総務省ウェブサイト) をご覧ください。

財政状況を「見える化」した資料を公表しています

本市の財政状況を表す数値や指標を、図表などを用いてわかりやすく解説した資料を令和4年度決算分まで公表しています。地方公会計制度に基づく財務書類とあわせて、市ウェブサイト (財政課のページ) でご覧いただけます。

なお、令和5年度決算の「見える化」資料と財務書類についても、作成次第、市ウェブサイトにて公表します。

■会計別歳入・歳出決算状況

区分	歳入	歳出	差し引き	繰り越し	実質収支
一般会計	4,806,245	4,759,018	47,227	2,472	44,755
特別会計					
財産区	4,365	4,365	0	0	0
国民健康保険事業	1,231,642	1,227,136	4,506	0	4,506
介護保険事業	1,200,556	1,199,062	1,494	0	1,494
後期高齢者医療事業	231,352	225,766	5,586	0	5,586
南河内広域行政共同処理事業	15,755	15,517	238	0	238
計	2,683,670	2,671,846	11,824	0	11,824
合計	7,489,915	7,430,864	59,051	2,472	56,579